

# 大学自己評価部会だより

第31号 (平成25年6月)

## カリキュラムポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、教育課程の編成・実施方針が明確に定められています。

- (1) 高度の専門性を習得することを目的に、所属分野の講義・演習を実施する。
- (2) 包括的な生命科学および臨床の知識と技術を習得することを目的に、専門領域の枠を超えて講義・演習を実施する。
- (3) 生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論に関する講義・演習を実施する。
- (4) 歯科臨床および研究に応用することを目的に、医工学と連携した講義・演習を実施する。
- (5) 国際性の向上のため、外国語によるプレゼンテーションや論文作成能力を養成する講義・演習を実施する。
- (6) 学内外を問わず多くの分野における高度な専門家による講義・演習を実施する。

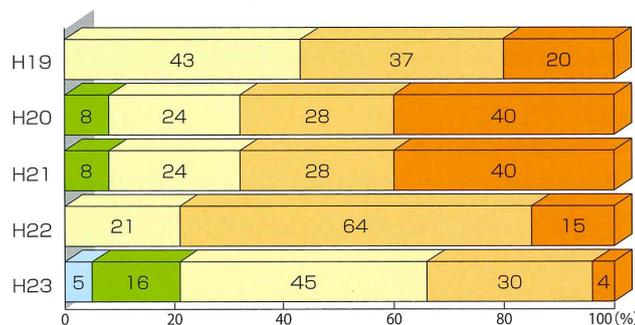
## アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成19～23年度の5年間を比較しました。

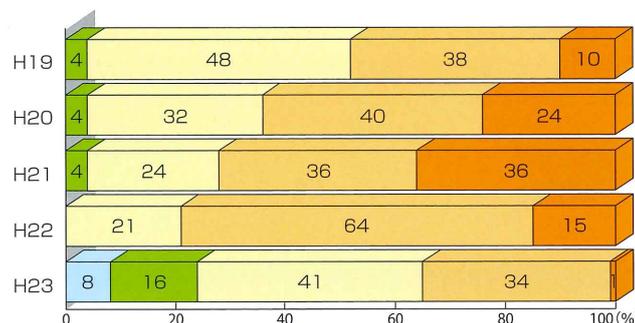
### ①主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、平成19年度よりシラバスを作成し、講義・実習の充実を図ってきました。平成22年度と比較して平成23年度は、主科目、副科目・選択科目ともに満足度が大幅に低くなっています。

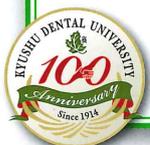
主科目に対する満足度



副科目・選択科目に対する満足度



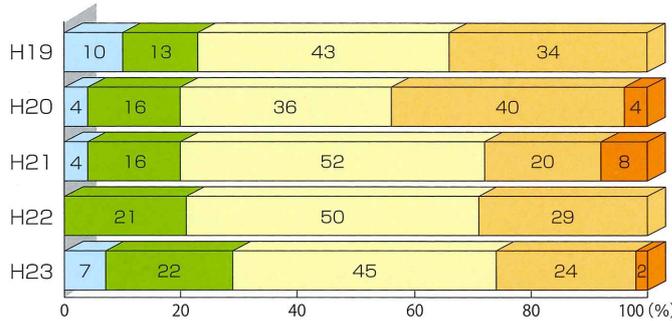
■ 高い  
■ 少し高い  
■ 普通  
■ 少し低い  
■ 低い



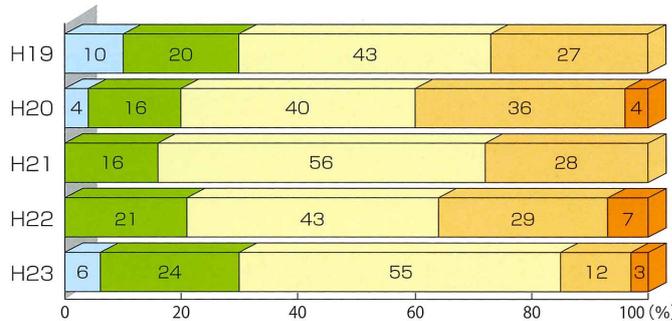
## ② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の判り易さ、学習相談(研究に関する相談)や助言についての適切さについては、5年間大きな変化は見られません。大学院生のニーズを大学が把握しているかということについては、平成22年度と比較して、「そう思わない」の割合が増加しています。

授業要綱は判り易いですか

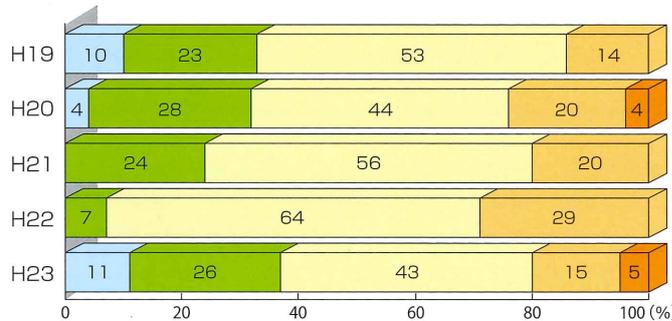


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



■ そう思う  
■ どちらかといえばそう思う  
■ どちらともいえない  
■ どちらかといえばそう思わない  
■ そう思わない

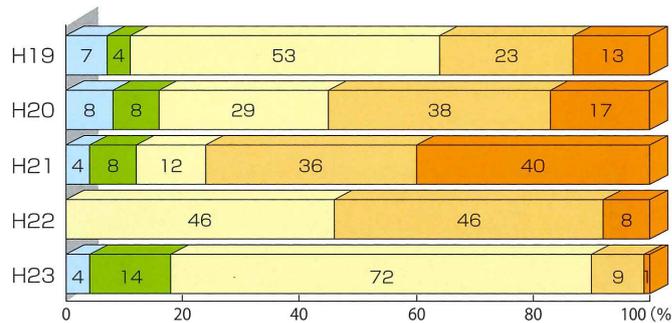
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



## ③ 研究指導に対する満足度

過去5年間と比較して、研究指導に対する満足度の高い学生の割合が大幅に減少しています。この理由を明らかにし、対応策を考えなければなりません。

現在の研究指導に満足していますか



■ 高い  
■ 少し高い  
■ 普通  
■ 少し低い  
■ 低い



# 大学自己評価部会だより

第32号 (平成25年8月)

## アンケートの調査結果を報告します

平成19年～23年度の歯学科1年生および平成22年～23年度の口腔保健学科1年生において、各学科のアドミッションポリシーの周知度について比較しました。

### ■歯学科

#### 1. 教育目標

- (1) 高いコミュニケーション能力を有し、歯科保健医療を通じて社会に貢献できる歯科医師を育成する。
- (2) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的歯科医師を育成する。
- (3) 歯科医療のリーダーとして活躍できる高度な専門性を持ち、探究心にあふれる歯科医師を育成する。

#### 2. 求める学生像

- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人。
- (2) 歯科医療および歯科医学に興味を持ち、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人。
- (3) 歯科医療および歯科医学について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人。
- (4) 歯科医師として国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人。

### ■口腔保健学科

#### 1. 教育目標

- (1) 高いコミュニケーション能力を有し、口腔保健活動を通じて健康増進に貢献できる人材を育成する。
- (2) 幅広いチーム医療が行える知識と技術を持ち、探究心にあふれる人材を育成する。
- (3) 口腔機能に関する専門的知識を持ち、保健・医療・福祉の分野で活躍できる人材を育成する。

#### 2. 求める学生像

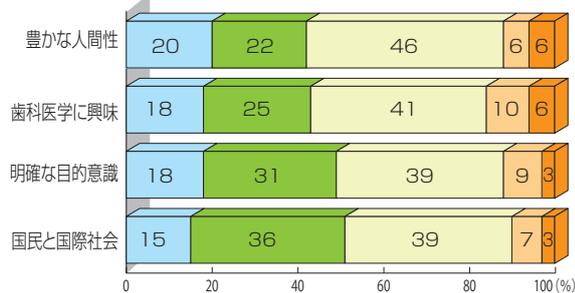
- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人。
- (2) 保健・医療・福祉に対して意欲的に取り組み、新しい課題に意欲的にチャレンジする人。
- (3) 口腔保健に強い興味を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人。
- (4) 口腔保健活動を通じ、国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人。



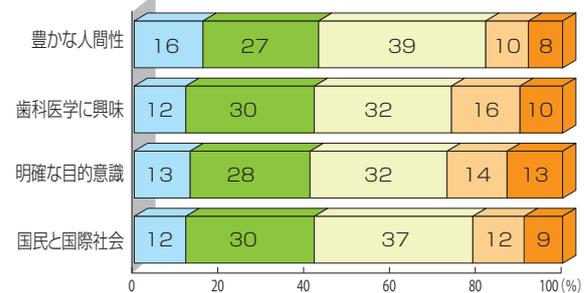
# 歯学科におけるアドミッションポリシー周知度

歯学科1年生における周知度は年々上昇している傾向が認められます。とくに平成23年度では「豊かな人間性」の周知度が著しく上昇しました。

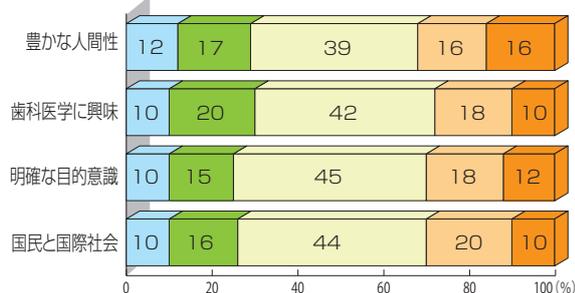
平成19年度



平成20年度



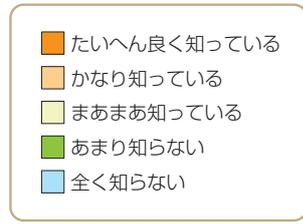
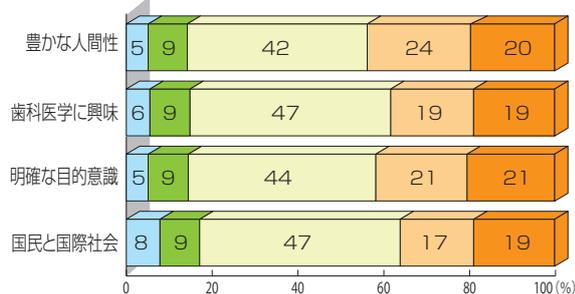
平成21年度



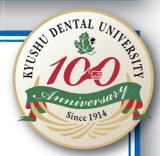
平成22年度



平成23年度

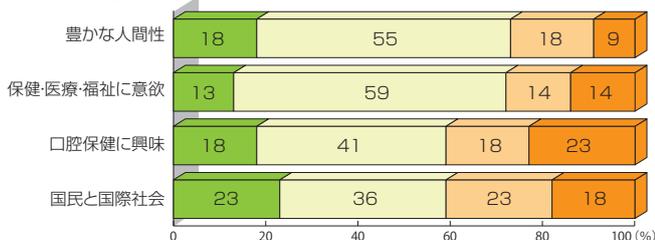


# 口腔保健学科におけるアドミッションポリシー周知度

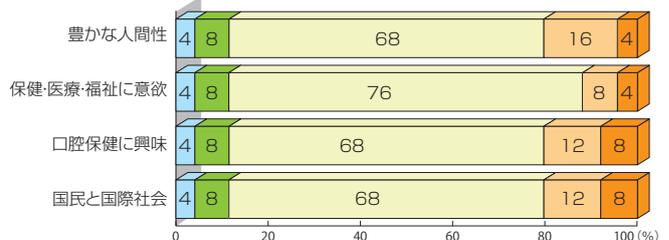


口腔保健学科1年生における周知度の高いことが伺えます。さらに「かなり知っている」「たいへん良く知っている」との回答が増加することを望みます。

平成22年度



平成23年度



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は [kikaku@kyu-dent.ac.jp](mailto:kikaku@kyu-dent.ac.jp) へお願いいたします。

# 大学自己評価部会だより

第33号 (平成25年9月)

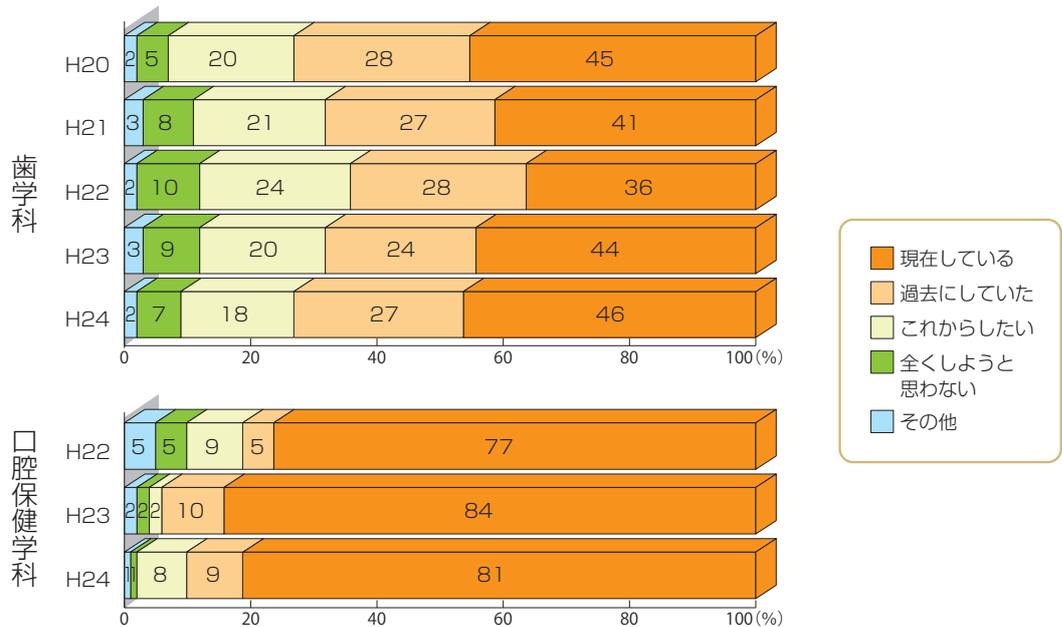
## アンケートの調査結果を報告します

歯学科、口腔保健学科を対象としたアンケートから、アルバイト、奨学制度の認識度、サークル活動の満足度の3つの視点から学生生活の状況について調査しました。

### ① アルバイトの現状

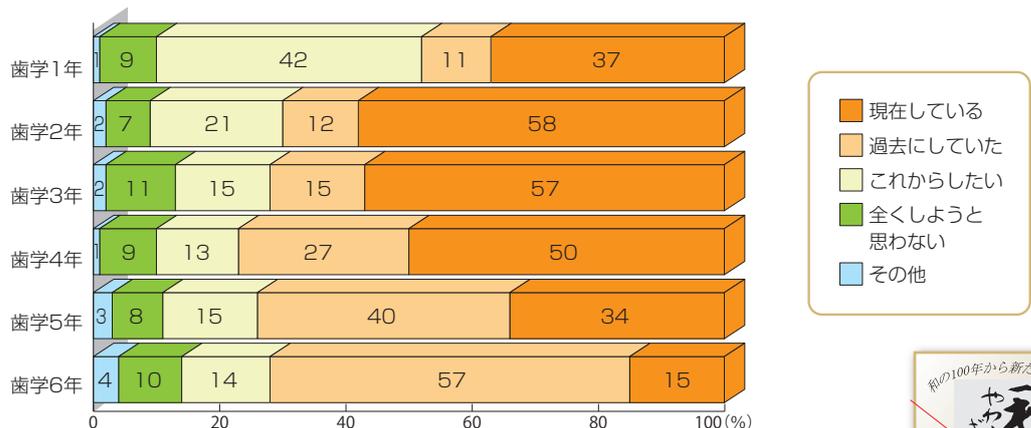
1. 学科別にみると歯学科より口腔保健学科の方が、アルバイトをしている学生の割合は高いようです。歯学科では、平成22年度を境に、アルバイトをしている学生が増加に転じています。
2. 歯学科では学年によって状況が大きく異なり、6年生では少なくなりますが15%はアルバイトをしています。

#### 1. 学科別のアルバイトの状況



本学に入学してアルバイトをしているか。あるいはこれからしたいと考えているか。

#### 2. 歯学科における学年別アルバイトの状況(H22~24年の3年間)



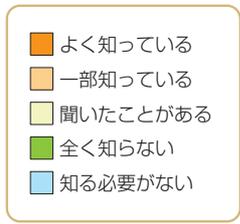
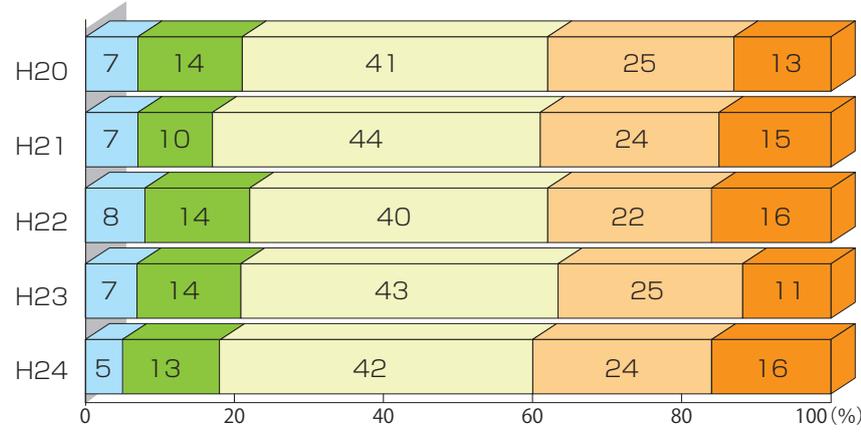
本学に入学してアルバイトをしているか。あるいはこれからしたいと考えているか。



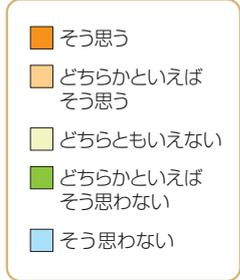
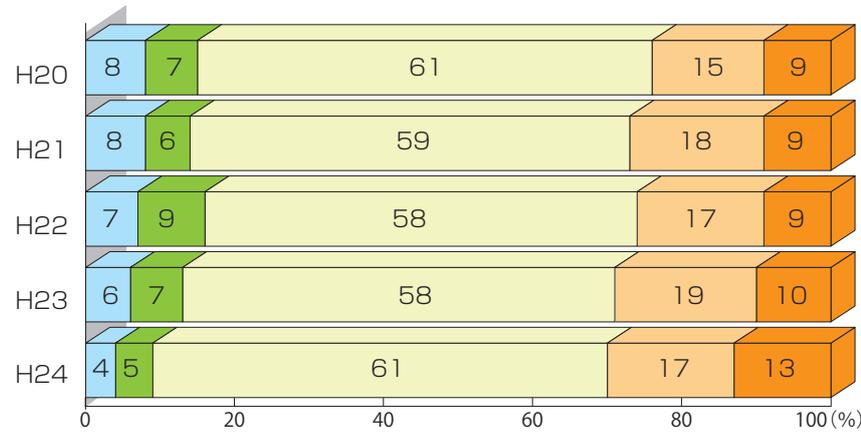
## ② 奨学制度について

奨学制度について「充実していると思わない」の割合は徐々に減少しています。

奨学制度を知っているか



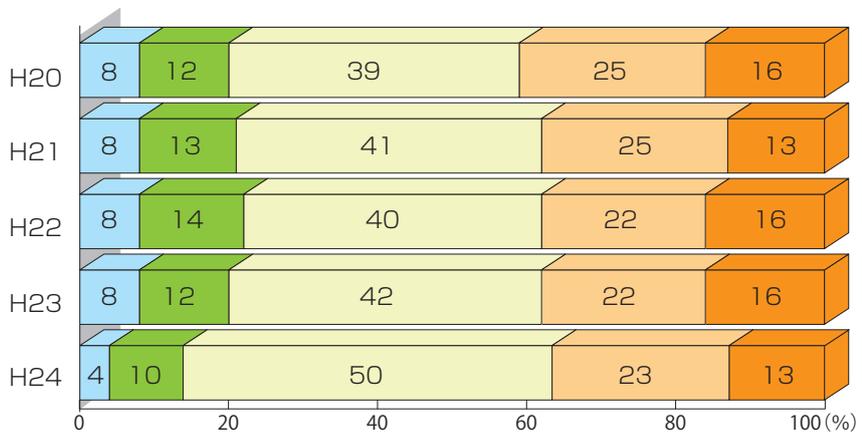
奨学制度は充実していると思うか



## ③ サークル活動への満足度

サークル活動に関する満足度の「低い」あるいは「少し低い」の割合が減少しています。

サークル活動に満足しているか



# 大学自己評価部会だより

第34号 (平成25年10月)

## 大学の理念

1. 高度な専門性を持った歯科医療人の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

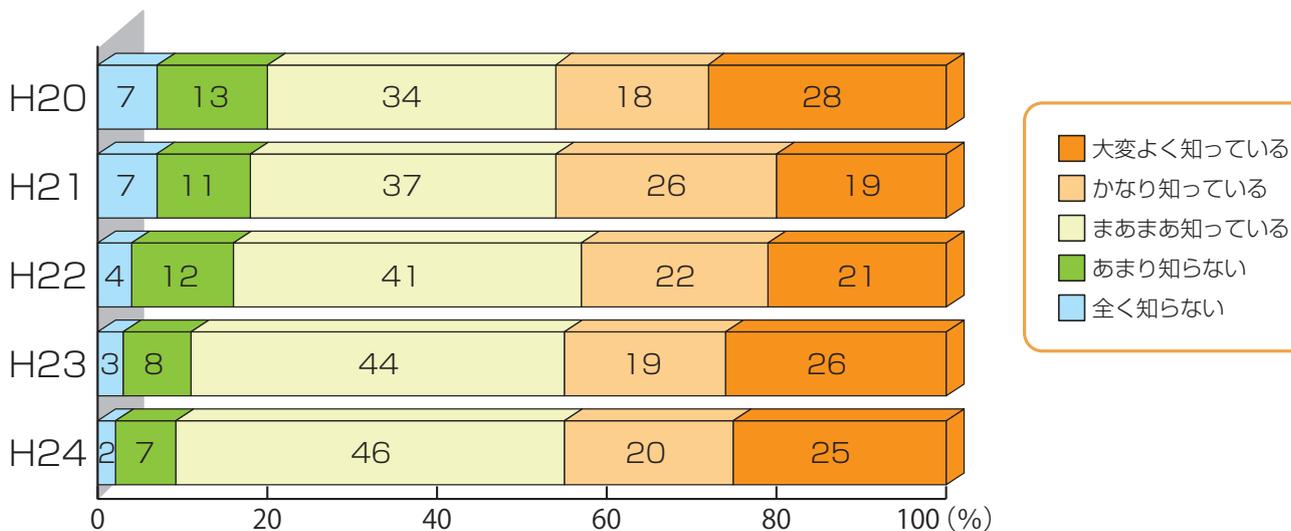
## アンケートの調査結果を報告します

学部学生を対象とした大学理念の周知度、講義、実習および大学教育への満足度を平成20年度～平成24年度で比較しました。

### ① 大学理念の周知度

大学理念の周知度は、これまでの傾向と同様に(全く知らないおよびあまり知らないの割合)の減少が認められました。平成24年度は、平成23年度に比べて(大変よく知っているおよびかなり知っているの割合)にほとんど変化がありませんでした。

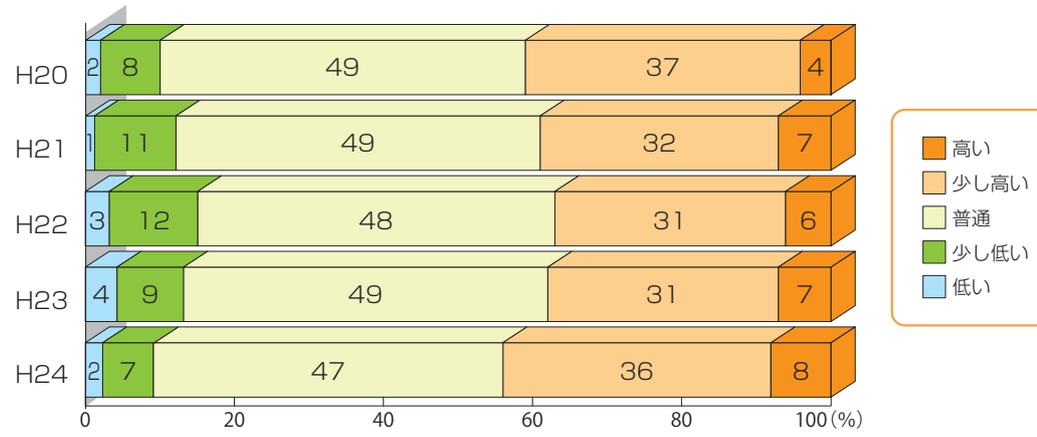
皆さん、さらなる大学理念の周知向上を目指して頑張りましょう!!



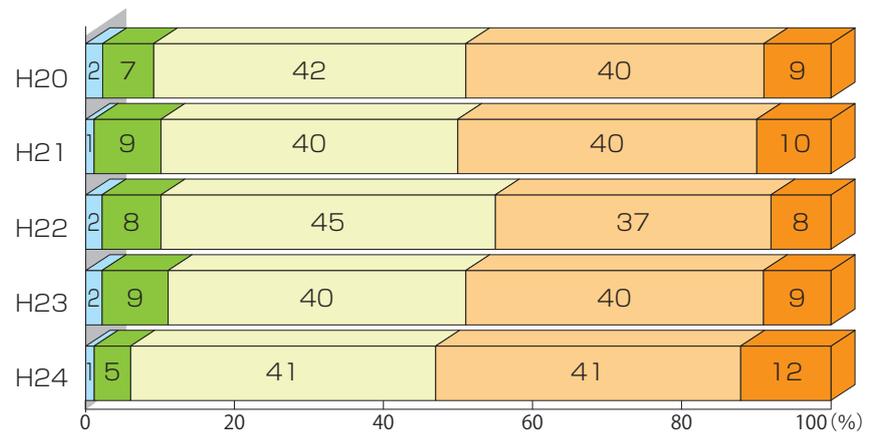
## 2 講義、実習の満足度

平成24年度は、平成23年度に比べて講義、実習の両方への満足度(高いおよび少し高いの割合)の増加が認められました。それにともない(少し低いおよび低い)の減少も認められました。

講義の満足度

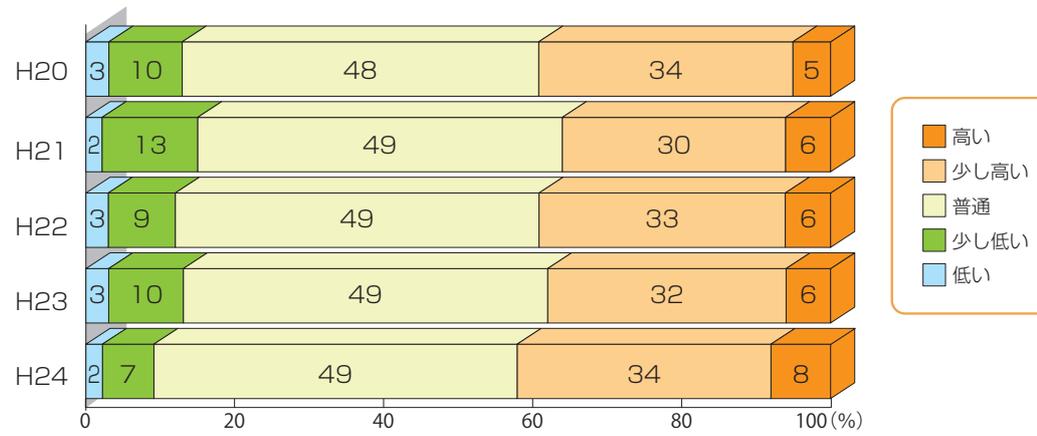


実習の満足度



## 3 大学教育への満足

大学教育への満足度は平成24年度は23年度と比べて(高いおよび少し高いの割合)の増加と(低いおよび少し低い割合)の減少が認められました。今度とも大学教育の満足度が増加するように教育改善の努力を続けていかなければなりません。



# 大学自己評価部会だより

第35号 (平成25年11月)

## ■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

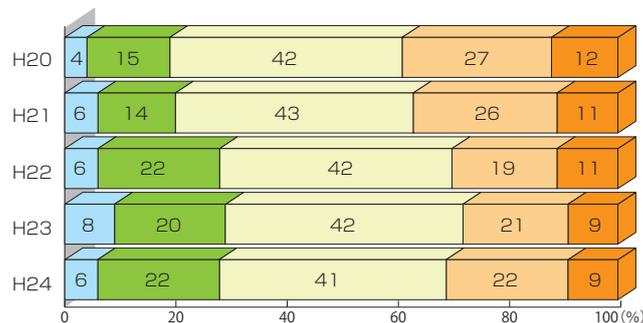
## アンケートの調査結果を報告します

学部学生を対象とした図書館関連施設、IT関連施設、体育関連施設等の満足度を平成20～24年度の各年度で比較しました。

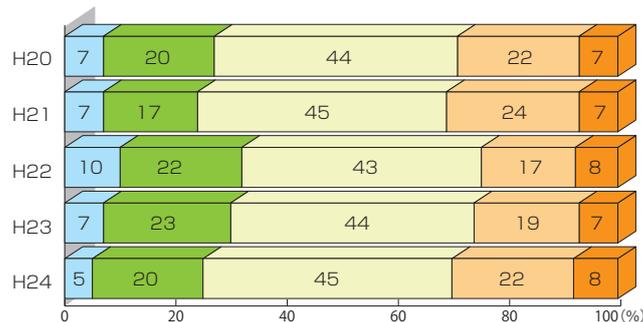
### ① 図書館関連の満足度

図書館の図書の満足度について、平成22年度から平成24年度にかけて、(大変満足しているおよびかなり満足しているの割合)の増加が認められました。今後は図書館での学習環境の満足度が上昇するように、問題点を明らかにし改善していかなくてはなりません。

図書館での  
学習環境の  
満足度



図書の  
満足度



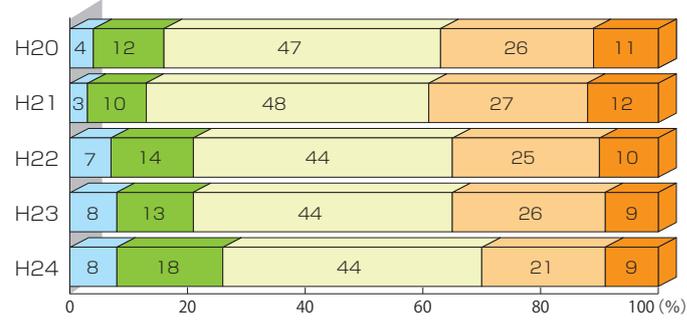
■ 大変満足している  
■ かなり満足している  
■ まあ満足している  
■ あまり満足していない  
■ 全く満足していない



## ② IT関連施設等の満足度

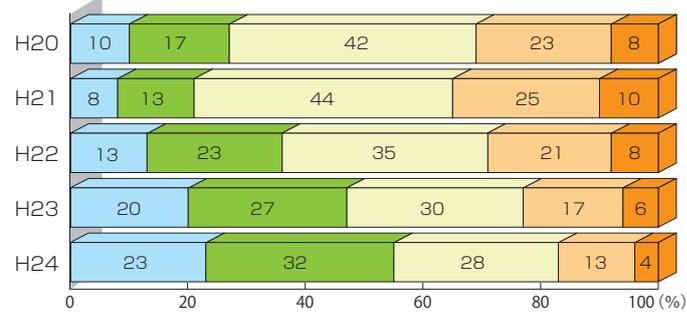
平成21年度から平成24年度にかけて、コンピューター演習室およびパソコンについて(あまり満足していない、および全く満足していない割合)の増加が認められました。今年度にパソコンの更新が行われる事から、今後これらの満足度の改善が期待されます。

コンピューター演習室の満足度



■ 大変満足している  
■ かなり満足している  
■ まあ満足している  
■ あまり満足していない  
■ 全く満足していない

パソコンの満足度

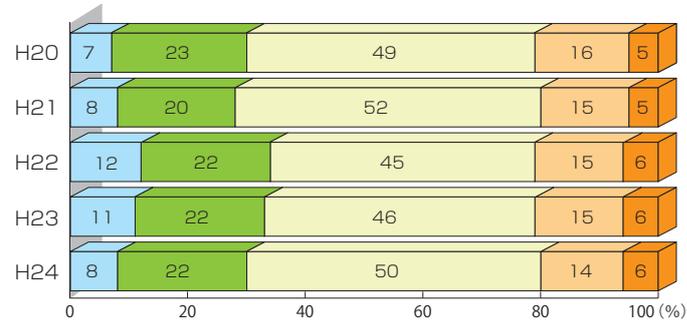


## ③ 体育関連施設の満足度

平成22年度から平成24年度にかけて、体育館およびグラウンドについて(あまり満足していないおよび全く満足していないの割合)の減少が認められました。

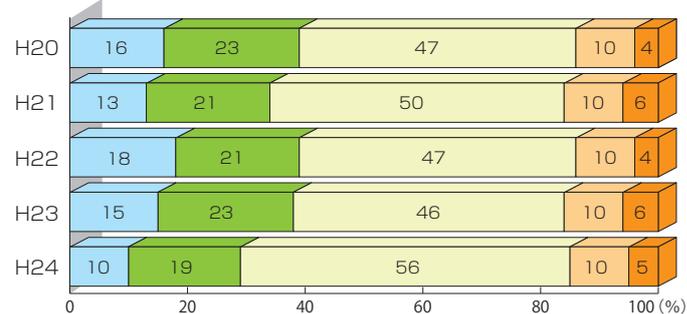


体育館の満足度



■ 大変満足している  
■ かなり満足している  
■ まあ満足している  
■ あまり満足していない  
■ 全く満足していない

グラウンドの満足度



# 大学自己評価部会だより

第36号 (平成25年12月)

## ■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

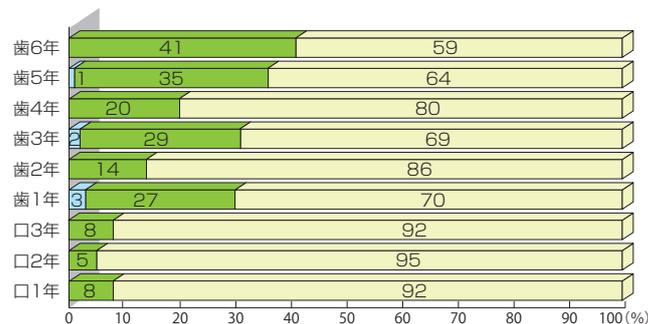
## アンケートの調査結果を報告します

心身の健康に関する相談室の認知度、自主学習時間に関する状況および学生のニーズの把握について、平成24年度の結果に基づき、歯学科(歯1～歯6年)と口腔保健学科(口1～口3年)に分けて示します。なお、年度別にみた平成24年度の結果は、平成18～23年度(第30号を参照)とほぼ同様の傾向でした。

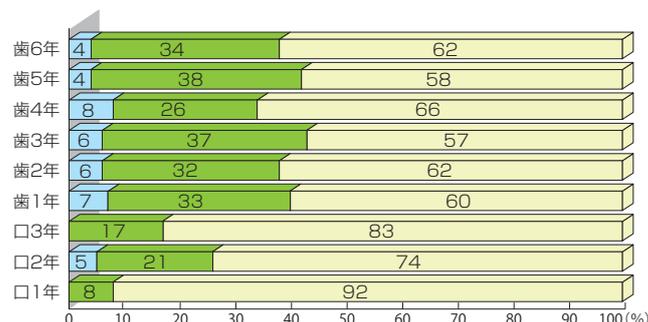
### ① 健康に関する相談室の認知度

健康管理室とカウンセリング・ルームのどちらも「知らない」人は非常に少ないのですが、健康管理室の認知度の方が少し高いようです。また、「知っている」人の割合が高いのは、いずれも歯学科より口腔保健学科でした。

本学に  
健康管理室があるのを知っていますか。



本学に  
カウンセリング・ルームがあるのを知っていますか。



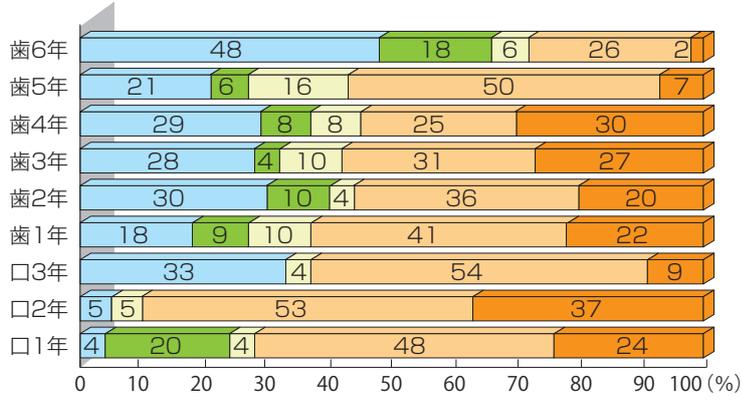
■ 知っている  
■ 何となく知っている  
■ 知らない



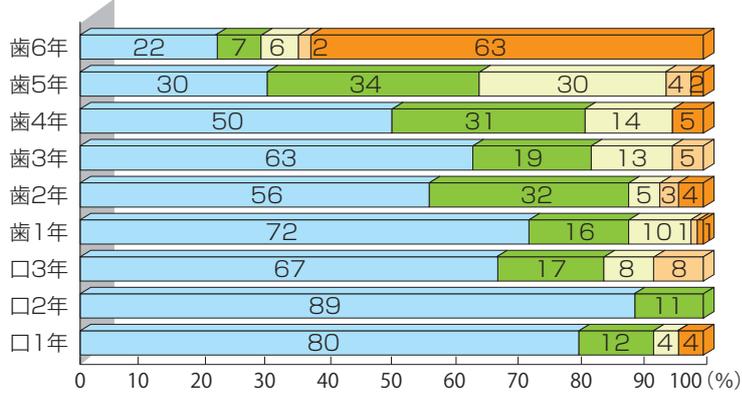
## ② 自主学習

本学の図書館の利用率は、歯6年と口3年で高くなっています。歯6年では、約70%が本学の図書館と自習室を利用しています。歯学科の他の学年と口腔保健学科では自宅学習が多いようです。学習時間の1日に1時間未満の割合は、歯学科では低学年ほど多い傾向を示し、6年生になると63%が4時間以上でした。口腔保健学科では、1時間未満の割合が3学年の平均で78.7%でした。

土日・祝祭日など、  
 大学が休みの時の  
 自主学習は主に  
 どこを利用しますか。



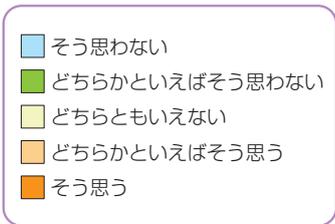
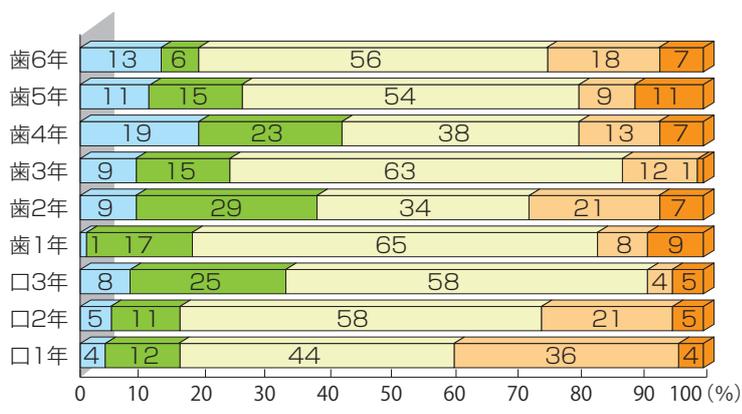
試験勉強を除く  
 あなたの自主学習  
 時間は1日平均  
 何時間ですか。



## ③ 学生のニーズの把握

「思わない」割合は口腔保健学科が平均21.7%、歯学科が平均27.8%でした。学科や学年によって感じ方に温度差があるようです。それぞれのニーズをしっかりと把握していくことが大切です。

本学として、  
 生活面での皆さんの  
 ニーズを適切に把握し  
 ていると思いますか。



# 大学自己評価部会だより

第37号 (平成26年2月)

## ディプロマ・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。

- (1) 生命科学に関する幅広い知識を習得し、自らが主体的に研究を遂行できる総合的能力が備わっていること。
- (2) 高度専門的医療人として、臨床の場で先駆的医療の発展に貢献する能力が備わっていること。
- (3) 歯学教育に関する多面的な知識と専門的知識を併せ持ち、歯学界をリードする能力が備わっていること。
- (4) 学際領域の学問分野を礎に地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること。
- (5) 円滑なコミュニケーションのもと、国際的視野に立ち、歯科医学を支える研究成果を社会へ情報発信できる能力が備わっていること。
- (6) 生涯にわたり研鑽し、歯・口腔領域の研究を先端的・独創的に推進する能力が備わっていること。

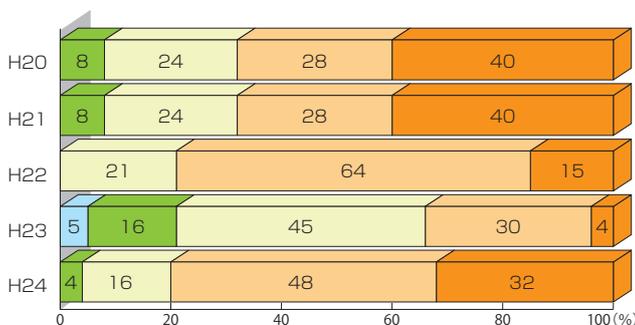
## アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成20～24年度の5年間を比較しました。

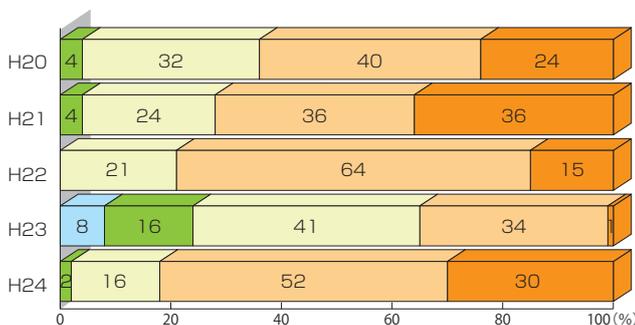
### ① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、平成19年度よりシラバスを作成し、講義・実習の充実を図ってきました。平成23年度低かった主科目、副科目・選択科目の満足度が上がって、例年並みになりました。

主科目に対する満足度



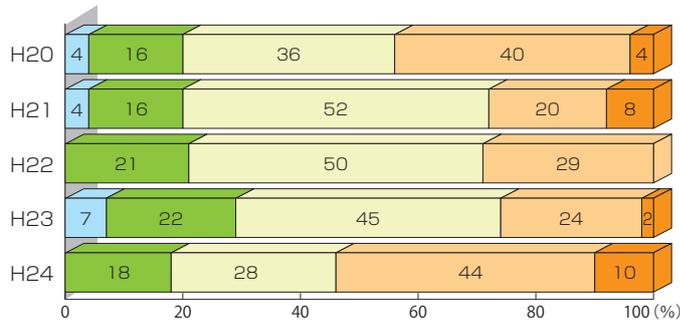
副科目・選択科目に対する満足度



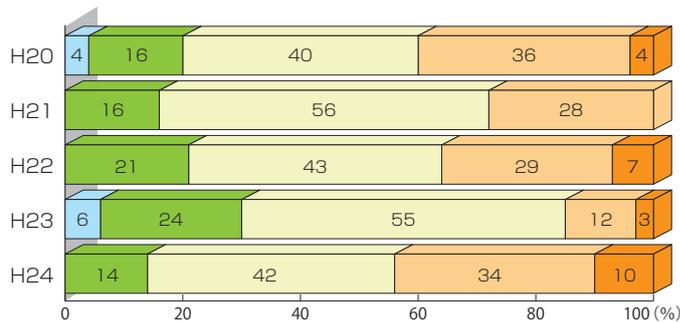
## ② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の判り易さ、学習相談(研究に関する相談)や助言についての適切さについては、5年間大きな変化は見られません。大学院生のニーズを大学が把握しているかということについては、平成23年度に約10%を占めていた「そう思わない」が0になりました。

授業要綱は判り易いですか

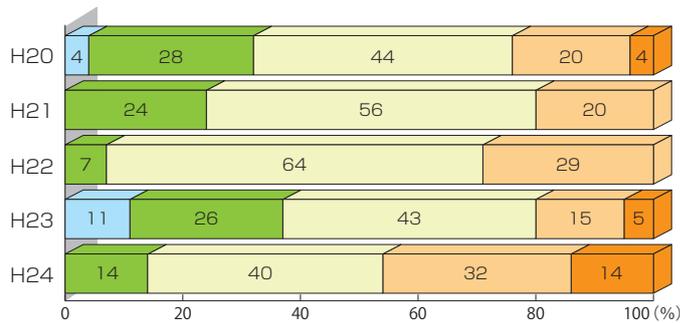


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

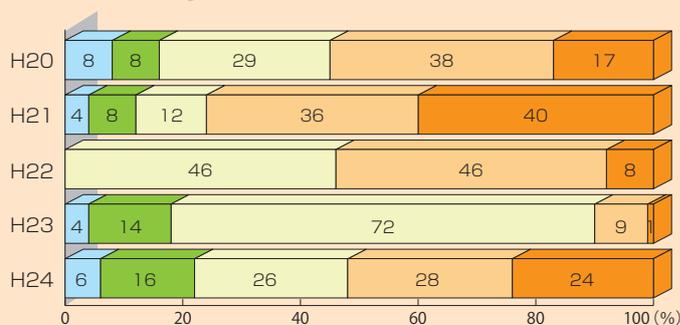
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



## ③ 研究指導に対する満足度

上記の項目では昨年度から改善傾向が見られたのですが、**研究指導に対する満足度の低い学生の割合は殆ど変わっていません**。指導教員の先生方は大学院生と良くコミュニケーションをとり、お互いが納得する形で研究を進めることが大切です。

現在の研究指導に満足していますか



- 高い
- 少し高い
- 普通
- 少し低い
- 低い

# 大学自己評価部会だより

第38号 (平成26年3月)

## アンケートの調査結果を報告します

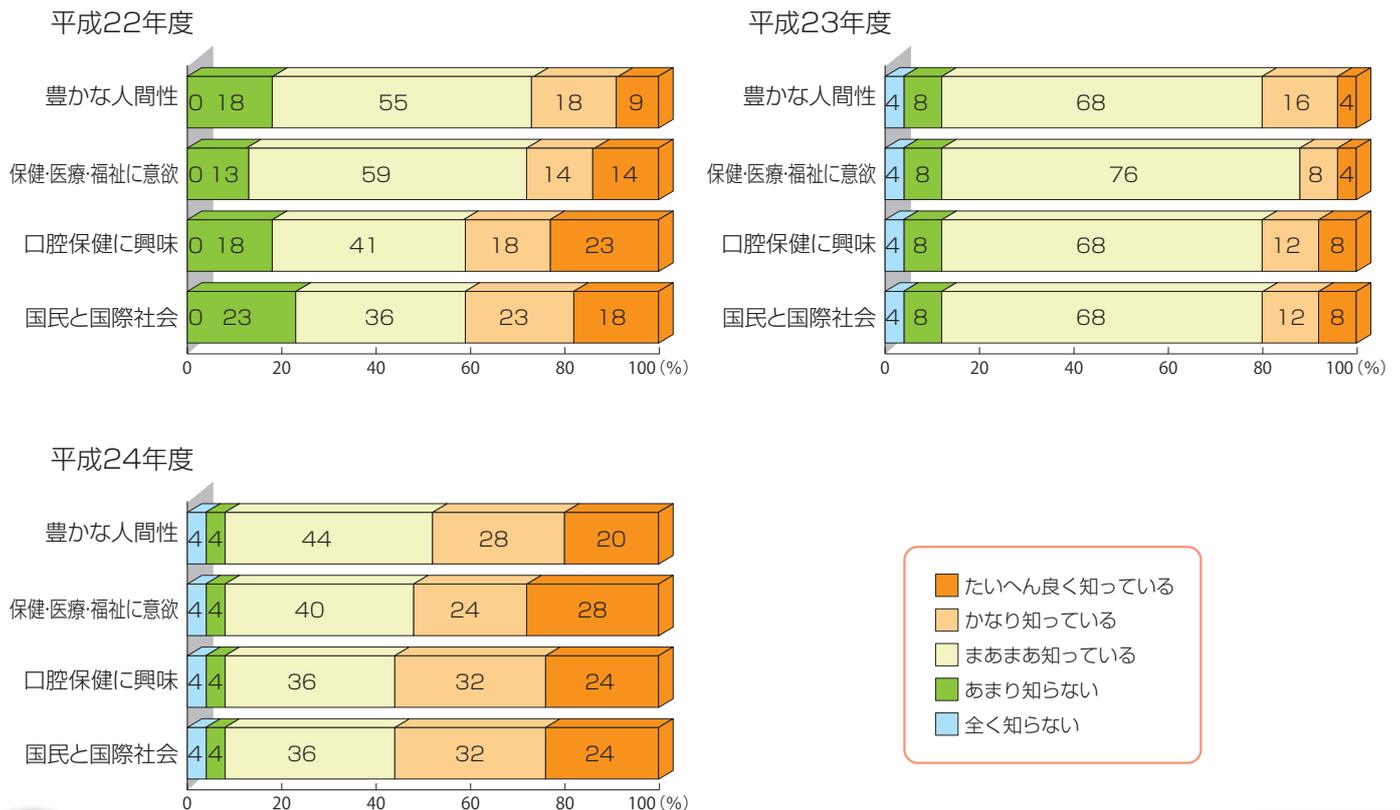
平成22年～24年度の口腔保健学科1年生および平成20年～24年度の歯学科1年生において、各学科のアドミッション・ポリシーの周知度について比較しました。

### 口腔保健学科のアドミッション・ポリシー（求める学生像）

- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人
- (2) 保健・医療・福祉に対して意欲的に取り組み、新しい課題に意欲的にチャレンジする人
- (3) 口腔保健に強い興味を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- (4) 口腔保健活動を通じ、国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

### 口腔保健学科におけるアドミッション・ポリシー周知度

平成24年度の口腔保健学科1年生における周知度がとても高くなりました。今後もこの傾向が持続することを望みます。



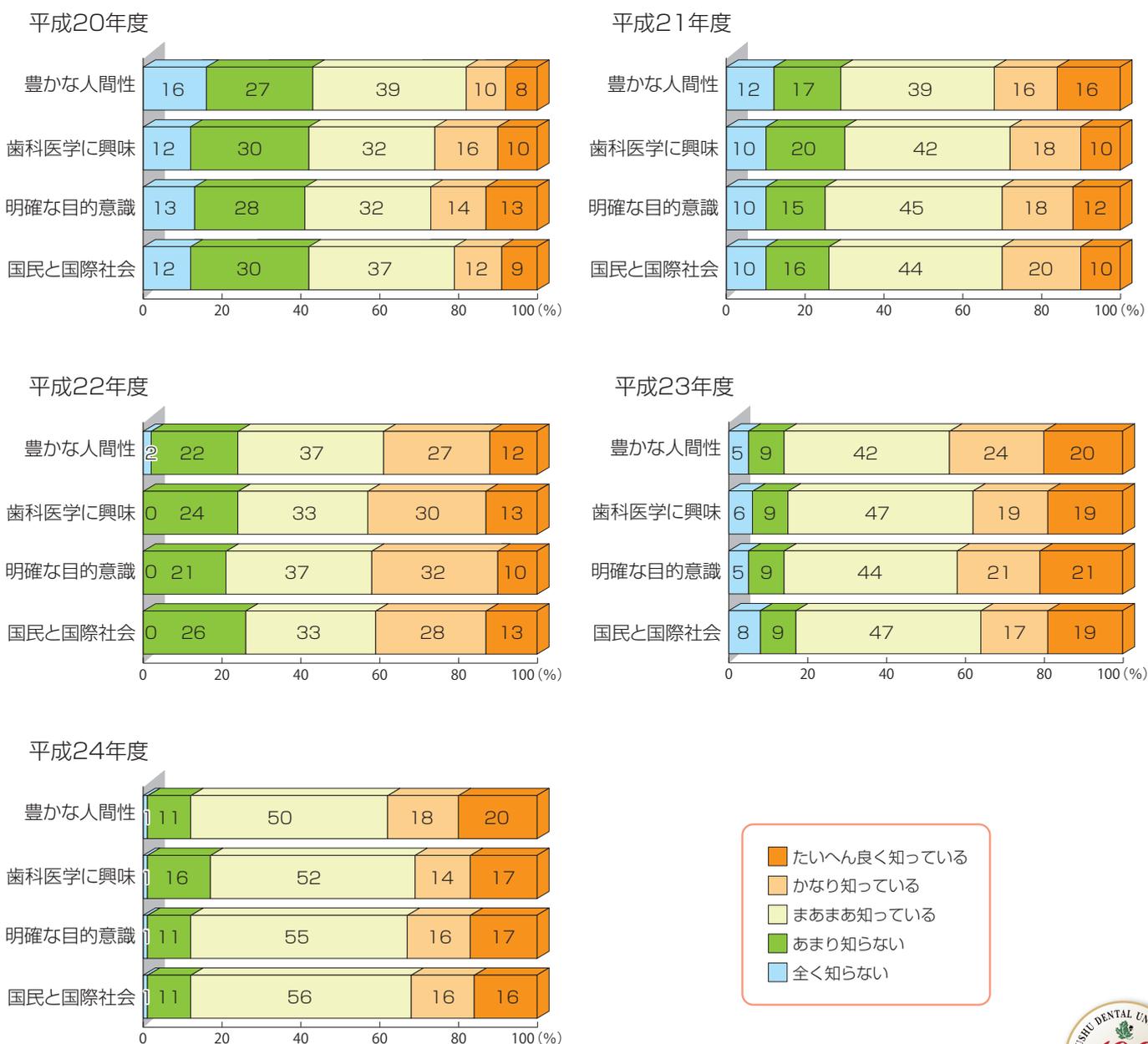


## 歯学科のアドミッション・ポリシー（求める学生像）

- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人
- (2) 歯科医療および歯科医学に興味を持ち、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- (3) 歯科医療および歯科医学について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- (4) 歯科医師として国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

## 歯学科におけるアドミッション・ポリシー周知度

歯学科1年生における周知度は年々上昇している傾向が認められます。さらに「かなり知っている」「たいへん良く知っている」の割合が増加することを望みます。



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は [kikaku@kyu-dent.ac.jp](mailto:kikaku@kyu-dent.ac.jp) へお願いいたします。